

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日



美樹工業株式会社

証券コード：1718

経営理念

信用の高揚10ヶ条

1. 経営方針には全員が参画し 経営計画は必ず達成する会社
2. お客さまから満足と信頼をいただき お客さまに感動を与える会社
3. 社会に責任をもち社会に容認される会社
4. 情報を共有し情報を開示し 経営の透明性を誇れる会社
5. 地域に奉仕貢献し地域に密着した会社
6. 環境問題に真剣に進歩的にとり組む会社
7. 脱請負を目ざし 企画事業 提案受注を目ざす会社
8. 礼儀作法 規則 約束を守り 社格の向上に努める会社
9. 相互信頼と切磋琢磨が共存する会社
10. 無事故 無災害を継続する会社

人と社会に選ばれる美樹工業を目指します。

平素は当社グループ事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第62期連結会計年度（2023年1月1日から2023年12月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類へ移行したことに伴い、経済活動は活発となり景気は穏やかに回復しているものの、各国での紛争や世界の経済・物価動向による金融引き締め、為替市場の動向の影響等、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、建設投資は引き続き堅調に回復し、各地で大規模物件の開発が増加しましたが、資材価格や労務費は高騰を続け、建設コストの上昇により収益性の低下が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、新規顧客の獲得に努め、兵庫県や岡山県において、大規模な工事案件の受注を獲得するとともに、関東を中心に積極的に営業活動を展開しました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、設備事業セグメントにおいて、大規模太陽光発電所工事の進捗の影響により、連結売上高は前年同期比4.7%増の32,203百万円となりました。

利益につきましては、前期に大規模太陽光発電所工事の工期の遅れにより太陽光パネル等の原材料価格が大幅に高騰したことや工法の変更に伴い工事損失引当金を計上していたこと等から、連結営業利益は前年同期比19.4%増の1,316百万円、連結経常利益は前年同期比12.7%増の1,330百万円、税金等調整前当期純利益は、前年同期比7.7%増の1,345百万円となり、法人税等合計431百万円、非支配株主に帰属する当期純利益74百万円を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比14.3%増の839百万円となりました。

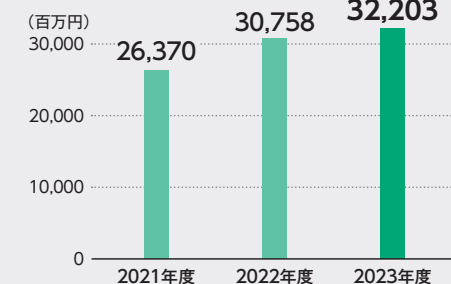
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 岡田 尚一郎

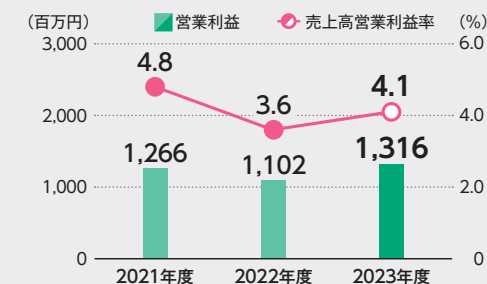
財務ハイライト

Financial Highlights

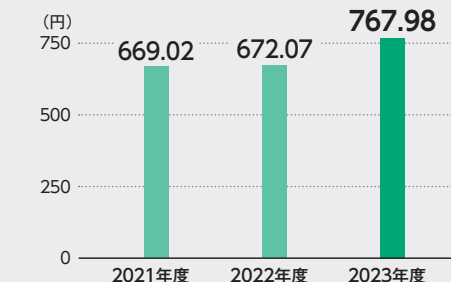
売上高



営業利益・売上高営業利益率



1株当たり当期純利益



POINT

1 資産合計

当社において販売用不動産が増加しましたが、現金預金や材料貯蔵品が減少したこと等から、30,118百万円（前連結会計年度末は30,998百万円）となりました。

2 負債合計

当社グループにおいて工事代金の支払いに伴う資金需要の増加により短期借入金及び長期借入金が増加しましたが、未成工事受入金が減少したこと等から、12,720百万円（前連結会計年度末は14,386百万円）となりました。

3 純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、17,397百万円（前連結会計年度末は16,612百万円）となりました。

4 売上高

設備事業セグメントにおいて、大規模太陽光発電所工事の進捗の影響により、連結売上高は前年同期比4.7%増の32,203百万円となりました。

5 利益

前期に大規模太陽光発電所工事の工期の遅れにより太陽光パネル等の原材料価格が大幅に高騰したことや工法の変更に伴い工事損失引当金を計上していたこと等から、連結営業利益は前年同期比19.4%増の1,316百万円、連結経常利益は前年同期比12.7%増の1,330百万円、税金等調整前当期純利益は、前年同期比7.7%増の1,345百万円となり、法人税等合計431百万円、非支配株主に帰属する当期純利益74百万円を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比14.3%増の839百万円となりました。

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 (2022年12月31日現在)	当連結会計年度 (2023年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,814,383	13,251,938
固定資産	17,184,320	16,866,621
有形固定資産	15,541,961	15,221,116
無形固定資産	82,096	69,610
投資その他の資産	1,560,261	1,575,894
1 資産合計	30,998,703	30,118,560
負債の部		
流動負債	11,251,166	8,841,646
固定負債	3,135,268	3,879,295
2 負債合計	14,386,434	12,720,941
純資産の部		
株主資本	14,551,472	15,193,617
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	13,191,210	13,833,967
自己株式	△110,378	△110,990
その他の包括利益累計額	60,615	137,737
非支配株主持分	2,000,181	2,066,263
3 純資産合計	16,612,269	17,397,618
負債純資産合計	30,998,703	30,118,560

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)	当連結会計年度 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)
4 売上高	30,758,899	32,203,391
売上原価	24,963,796	26,287,829
売上総利益	5,795,103	5,915,561
販売費及び一般管理費	4,692,905	4,599,315
5 営業利益	1,102,197	1,316,246
営業外収益	103,673	47,738
営業外費用	24,831	33,288
5 経常利益	1,181,040	1,330,695
特別利益	77,205	14,785
特別損失	9,179	0
税金等調整前当期純利益	1,249,066	1,345,480
法人税、住民税及び事業税	524,652	371,869
法人税等調整額	△112,406	59,335
当期純利益	836,821	914,276
非支配株主に帰属する当期純利益	102,130	74,748
5 親会社株主に帰属する当期純利益	734,690	839,527

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前連結会計年度 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)	当連結会計年度 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)
6 営業活動による キャッシュ・フロー	1,198,384	△2,156,060
7 投資活動による キャッシュ・フロー	△86,967	△219,738
8 財務活動による キャッシュ・フロー	△1,127,562	1,309,295
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△16,145	△1,066,503
現金及び現金同等物の 期首残高	2,884,665	2,868,519
現金及び現金同等物の 期末残高	2,868,519	1,802,016

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2023年1月1日から2023年12月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	764,815	705,825	13,191,210	△110,378	14,551,472	58,570	2,045	60,615	2,000,181	16,612,269
当期変動額										
剰余金の配当			△196,770		△196,770					△196,770
親会社株主に帰属する 当期純利益			839,527		839,527					839,527
自己株式の取得				△611	△611					△611
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						76,841	280	77,121	66,082	143,204
当期変動額合計	－	－	642,757	△611	642,145	76,841	280	77,121	66,082	785,349
当期末残高	764,815	705,825	13,833,967	△110,990	15,193,617	135,412	2,325	137,737	2,066,263	17,397,618

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益1,345百万円の増加要因がありますが、未成工事受入金の減少2,302百万円や仕入債務の減少488百万円等の減少要因により、資金は2,156百万円の減少（前連結会計年度は1,198百万円の増加）となりました。

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入37百万円等の増加要因がありますが、有形固定資産の取得による支出143百万円等の減少要因により、資金は219百万円の減少（前連結会計年度は86百万円の減少）となりました。

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出957百万円等の減少要因がありますが、短期借入金の増加1,401百万円及び長期借入れによる収入1,135百万円等の増加要因により、資金は1,309百万円の増加（前連結会計年度は1,127百万円の減少）となりました。

建設事業

建設事業は、美樹工業の原点です。創業以来約70年にわたり施工を通じて発注者との信頼関係を深め、コンスタントな受注獲得、特命受注、シリーズ化工事を進めてまいりました。スポット受注が大勢を占める建設業界において、業績の安定化、他社との差別化につながっています。



部門別概況

建設事業につきましては、受注は好調に推移しておりますが、工事進捗の影響により、売上高は前年同期と比較して4.9%減の13,313百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少に加えて、人件費の上昇に伴う販売費及び一般管理費が増加した影響により、前年同期比7.4%減の797百万円となりました。

設備事業

設備事業は、ガス内管工事・ガス機器等の販売施工を行うとともに、生活に欠かせない給排水衛生設備や空調設備工事も行っております。また、連結子会社三樹エンジニアリング(株)では、大阪ガス(株)のサービスショップとして、エネファームやガスヒーポン、カワック、温水床暖房などの販売を行っております。



部門別概況

設備事業につきましては、当社において施工している大規模太陽光発電所工事の進捗により、売上高は前年同期比65.8%増の6,199百万円となりました。しかしながら、本物件については原材料価格の大幅な高騰や工法の変更等の影響により収益の確保が難しかったことから、営業損失122百万円（前年同期は営業損失452百万円）となりました。

住宅事業

当社グループの大きな柱へと成長した住宅事業では、連結子会社セキスイハイム山陽(株)におきましては、積水化学工業(株)のユニット住宅「セキスイハイム」「セキスイツーユーホーム」の販売、施工を行うとともに、連結子会社(株)リブライフにおきまして、外張断熱工法の木造デザイン住宅「リバーロ」等の販売、施工を行っております。



部門別概況

住宅事業につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)においてユニット住宅の販売が低迷した影響から、売上高は前年同期比2.3%減の10,352百万円、営業損失30百万円（前年同期は営業損失14百万円）となりました。

貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科 目	前事業年度 (2022年12月31日現在)	当事業年度 (2023年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	9,687,489	9,156,053
固定資産	10,913,947	10,621,383
有形固定資産	9,807,829	9,518,034
無形固定資産	76,934	64,510
投資その他の資産	1,029,182	1,038,838
資産合計	20,601,436	19,777,437
負債の部		
流動負債	6,819,064	5,874,878
固定負債	2,255,152	1,781,269
負債合計	9,074,217	7,656,148
純資産の部		
株主資本	11,471,275	11,992,358
資本金	764,815	764,815
資本剰余金	705,825	705,825
利益剰余金	10,111,013	10,632,709
自己株式	△110,378	△110,990
評価・換算差額等	55,943	128,930
その他有価証券評価差額金	55,943	128,930
純資産合計	11,527,219	12,121,288
負債純資産合計	20,601,436	19,777,437

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	前事業年度 (2022年1月1日から 2022年12月31日まで)	当事業年度 (2023年1月1日から 2023年12月31日まで)
売上高	18,041,465	19,762,988
売上原価	15,726,124	17,025,786
売上総利益	2,315,341	2,737,201
販売費及び一般管理費	1,604,649	1,725,121
営業利益	710,692	1,012,079
営業外収益	82,562	40,266
営業外費用	15,635	18,197
経常利益	777,618	1,034,148
特別利益	77,205	14,785
特別損失	997	0
税引前当期純利益	853,826	1,048,933
法人税、住民税及び事業税	349,369	280,275
法人税等調整額	△82,250	50,192
当期純利益	586,707	718,465

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

利益配分に関する方針

配当金について

当社は、剰余金の配当に關しまして、株主還

元を経営上の重要課題の一つと考え、連結

配当性向30%以上を基準に、安定的な配当

の実施及び将来の事業拡大のための内部留

保などを勘案して決定することを基本方針と

しております。また、内部留保につきましては、

積極的な投資と事業基盤の拡充を通じて企業

価値の持続的向上を図り、その成果を株主

の皆様へ還元できるよう努めます。

これらを総合的に勘案した上で、当期の期末

配当につきましては、1株当たり150円（う

ち普通配当80円、特別配当70円）といたし

ます。この結果、当期の年間配当は、1株当

たり230円（うち中間配当80円）といたします。

当期の主な
完成・受注工事

完成工事一覧	
工事名	施主名
東播磨南北道路Dランプ 橋下部その他工事	近畿地方整備局
尼崎西宮芦屋港海岸南芦屋浜東護岸改修工事（その5）	兵庫県
新工場 新築工事	(株)梶原鉄工所
ヤマダストアー青山店 改築工事	ヤマダストアー(株)
大阪ミートセンター 新築工事	エスフーズ(株)
福岡町プロジェクト	白鷺ニット工業(株)
三和シャッター工業九州工場 自家消費型太陽光発電所建設工事	三和ホールディングス(株)
大峯山風力発電所 建設工事	(株)二川工業製作所
茨木市西中条町開発 設計工事監理業務並びに新築工事	JR西日本不動産開発(株)



受注工事一覧	
工事名	施主名
加古川大門橋上流 築堤工事	近畿地方整備局
県立西宮総合医療センター（仮称）病院棟外機械設備工事	兵庫県
(仮称)西脇多可新ごみ処理施設 建設工事	西脇多可行政事務組合
令和5年度 送・配水管更新耐震化工事 高田台地内	上郡町
岡山市駅前町第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事(ホテル棟)	岡山市駅前町一丁目2番3番4番地区市街地再開発組合
(株)サナス向けRPFボイラ設備 建設工事	GPSSエンジニアリング(株)
播磨工場高度研究棟 建設工事	阪神内燃機工業(株)



◀ エスフーズ(株) 大阪ミートセンター 新築工事



▲ 茨木市西中条町開発 設計工事監理業務並びに新築工事(ビエラコート茨木)



▲ 大峯山風力発電所 建設工事



▲ ヤマダストアー青山店 改築工事



▲ 白鷺ニット工業(株) 福岡町プロジェクト (福岡ファクトリー)



▲ 三和シャッター工業九州工場 自家消費型太陽光発電所建設工事



▲ (株)梶原鉄工所 新工場 新築工事

株主優待制度のご案内

① 対象株主

2023年12月31日時点で、
1単元以上保有の株主様を対象といたします。

② 優待内容

(株)サラダコスモの商品の詰め合わせ
(豆苗、ブロッコリーの新芽、緑豆もやしなど)

③ お届け時期

2024年3月末頃の発送を予定しております。



※内容が異なる場合がございます。

株主優待制度廃止について

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの皆様に長年にわたり当社株式を保有していただくことを目的として、2005年から株主優待制度を実施してまいりました。

この度、株主の皆様に対する公平な利益還元のあり方という観点から慎重に検討を重ねました結果、2024年2月14日付当社プレスリリースのとおり、配当による利益還元を充実させていくことがより適切であると判断し、株主優待制度を廃止することといたしました。これまで当社株主優待制度をご愛顧賜りまして、誠にありがとうございました。

当社では、今後も株主の皆様への適切な利益還元を行うことを経営上の重要課題と位置づけ、企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月末頃から発送する株主優待品をもって、株主優待制度を廃止させていただきます。
2024年以降を基準日とする株主優待は実施いたしません。

■ 会社情報

商 号	美樹工業株式会社
英 文 商 号	MIKIKOGYO CO.,LTD.
設 立	1962年1月
資 本 金	7億6,481万円
従 業 員 数	265名
主 な 取 引 銀 行	三菱UFJ銀行 三井住友銀行 みずほ銀行 りそな銀行 トマト銀行 兵庫県信用農業協同組合連合会

■ 事業所

本 店	兵庫県姫路市北条951番地1
東 京 支 店	東京都品川区西五反田二丁目25番2号
大 阪 支 店	大阪市中央区道修町三丁目6番1号
神 戸 支 店	神戸市中央区港島中町一丁目1番地の3

■ 役員 (2024年3月25日現在)

代 表 取 締 役 社 長	岡 田 尚 一 郎
常 務 取 締 役	魚 澤 誠 治
常 務 取 締 役	山 下 直 彦
取 締 役	瀬 川 典 弘
取 締 役	岡 成 一
取 締 役	園 田 学
取 締 役	寺 本 真 裕 美
監 査 役	三 木 立 子
監 査 役	和 泉 洋
監 査 役	山 本 雅 春

■ 株式の状況

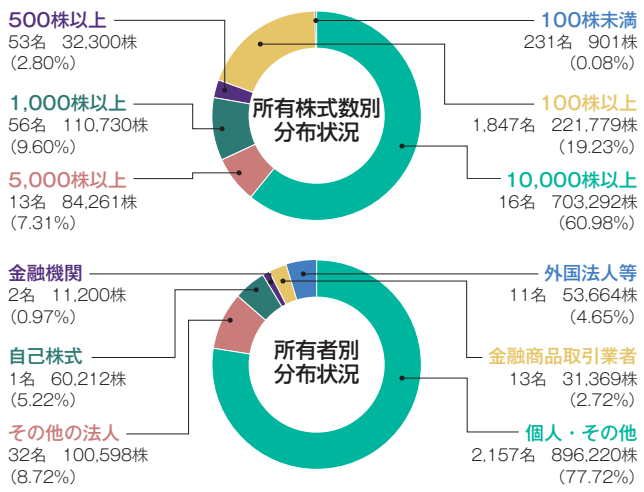
発行可能株式総数	: 4,000,000株
発行済株式の総数	: 1,153,263株
株主数	: 2,216名

■ 大株主の状況

株 主 名	持 株 数	持株比率
三 木 佳 美	167,050株	15.28%
三 木 博 也	151,760株	13.88%
有 限 会 社 フ レ ン ド 商 会	70,698株	6.46%
内 藤 征 吾	34,200株	3.12%
NORTHERN TRUST GLOBAL SERVICES SE, LUXEMBOURG RE CLIENTS NON-TREATY ACCOUNT	27,600株	2.52%
平 野 勝 也	26,800株	2.45%
中 田 純 夫	24,050株	2.20%
福 本 久 幸	24,000株	2.19%
美 樹 工 業 社 員 持 株 会	23,137株	2.11%
三 木 立 子	21,721株	1.98%

(注1) 上記のほか、自己株式が60,212株あります。
(注2) 持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式の数を除いております。

■ 株式分布



株 主 メ モ

事業年度 1月1日から12月31日まで
定時株主総会 3月中
配当金受領株主確定日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話：0120-094-777 (通話料無料)
上 場 市 場 東京証券取引所スタンダード市場
公 告 の 方 法 電子公告 (当社ホームページに掲載)
<https://www.mikikogyo.co.jp>
事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金受領方法のご指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
ホームページアドレス <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



美樹工業株式会社
MIKI KOGYO CO.,LTD.

<https://www.mikikogyo.co.jp>